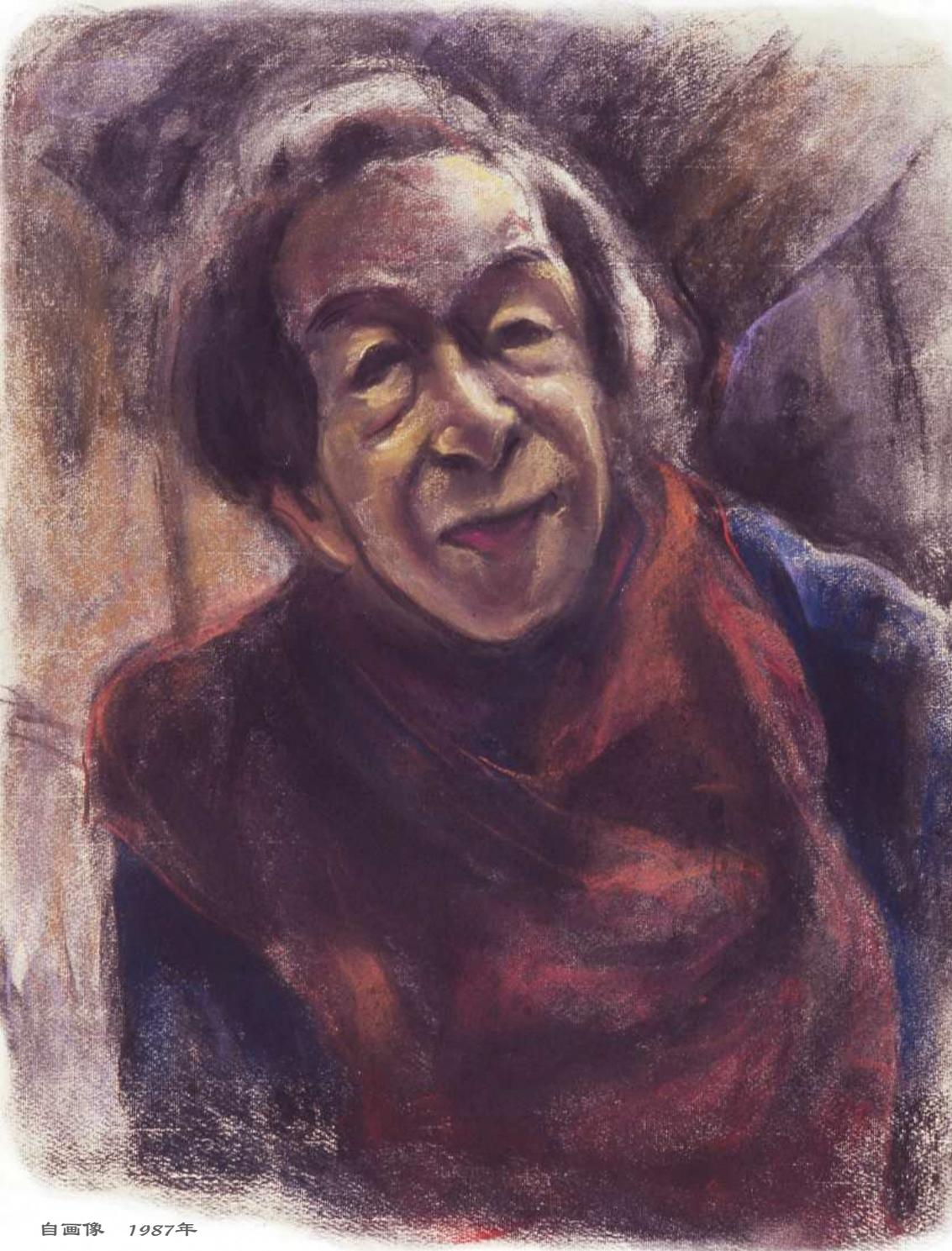


令和元年度枚方市平和の日記念事業企画展

片山長三展



自画像 1987年

美術教員が残した絵日誌に見る戦中戦後

2020 2/28金 - 3/11水
10:00 - 18:00

(水曜日は17:00まで)

会期中無休
観覧無料

会場 枚方市民ギャラリー

住所：大阪府枚方市岡東町12-3-508
京阪電車枚方市駅東改札口直結
サンプラザ3号館5階

主催：枚方市

問合せ：枚方市立サンプラザ生涯学習市民センター

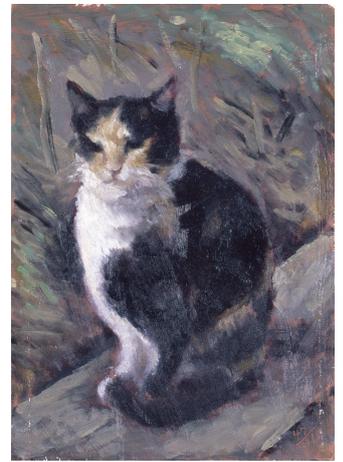
Tel 072-846-5557 Fax 072-843-8620



1941年12月8日 日米英開戦のニュースをさく



菅原村長尾遠景 1930年頃



ねこ 1972年

郷土枚方の原風景

枚方市平和の日記念事業 企画展

枚方市には、戦前、火薬製造所など旧陸軍施設が3箇所もあり、禁野火薬庫が1939(昭和14)年3月1日に大爆発を起こし、約700人もの死傷者を出しました。こうした惨事を風化させないよう1982(昭和57)年に大阪府で初めて「非核平和都市」を宣言しました。

また、火薬庫爆発から50年後の1989(平成元)年に、3月1日を「枚方市平和の日」と定め、毎年さまざまな記念行事を行っており、枚方市民ギャラリーでは、枚方市平和の日記念事業の一環として「平和」をテーマとした企画展に取り組んでいます。

今回は、昭和期の郷土史家、教育者、画家であった片山長三氏の遺作品、絵日誌や水彩画・油彩画などを通して、多くの人が現在の平和の尊さを感じ、考える契機となるよう企画しました。



ばらとひなげし 1977年

交野に生まれふるさとの自然と絵を愛した人

片山長三(1894-1988)は、北河内の遺跡発掘、郷土史の執筆・編纂など、考古学の分野での業績で知られていますが、本来は美術教員でした。

日本が激動と困難の時代に、八尾高等女学校(現府立山本高等学校)、四條畷中学校(現府立四條畷高等学校)に勤務の傍ら、1500枚にのぼる墨絵の絵日誌を残していました。そこには「人生は楽しむべきであって、楽しくなければ楽しいように自分で創造してゆく」という長三の人生観が貫かれているように思われます。

枚方市平和の日にあたり、教育者であり考古学者、郷土史家、歌人、俳人、そして何より画家であった長三の多彩な生涯と心に、その作品を通して触れていただければ幸いです。

(長三氏ご家族より)

片山長三略年譜

- 1894 明治27 星田村(現・交野市)に生まれる
- 1913 大正 2 赤松麟作洋画研究所に学ぶ
- 1931 昭和 6 文部省検定 日本画試験合格
- 1932 昭和 7 文部省検定 西洋画試験合格
- 1938 昭和13 北河内一帯の遺跡発掘調査開始
- 1953 昭和28 長尾史執筆
- 1957 昭和32 交野町神宮寺にて
旧石器・早期縄文時代複合遺跡発掘
津田史執筆
- 1963 昭和38 交野町史執筆・編纂
- 1964 昭和39 採集研究した考古学資料を大阪市立博物館へ寄贈
- 1966 昭和41 枚方市史(枚方台地の形成から弥生時代)を執筆
- 1971 昭和46 交野町福祉会館壁画「古代交野の里」制作
- 1974 昭和49 第一回個展開催
- 1975 昭和50 枚方市長尾区公民館壁画制作
- 1988 昭和63 3月没(享年94歳)

ギャラリートーク

片山長三氏のご家族と

元市立枚方宿鍵屋資料館館長・平尾賢二氏による対談

日 時：2020年3月7日(土) 14:00 - 15:30

場 所：枚方市民ギャラリー

定 員：先着40名(申込不要) 無料



【交通案内】

京阪電車「枚方市駅」東改札口直結
サンプラザ3号館5階